

31H 飯川 夏帆      32H 正谷 惇輝      33H 木戸 綾乃  
 35H 北原 照水      36H 立川 悠花

## ■課題

空き家探しの大変さや、交通機関の不便さにより移入者数増加に繋がりにくい傾向にある。

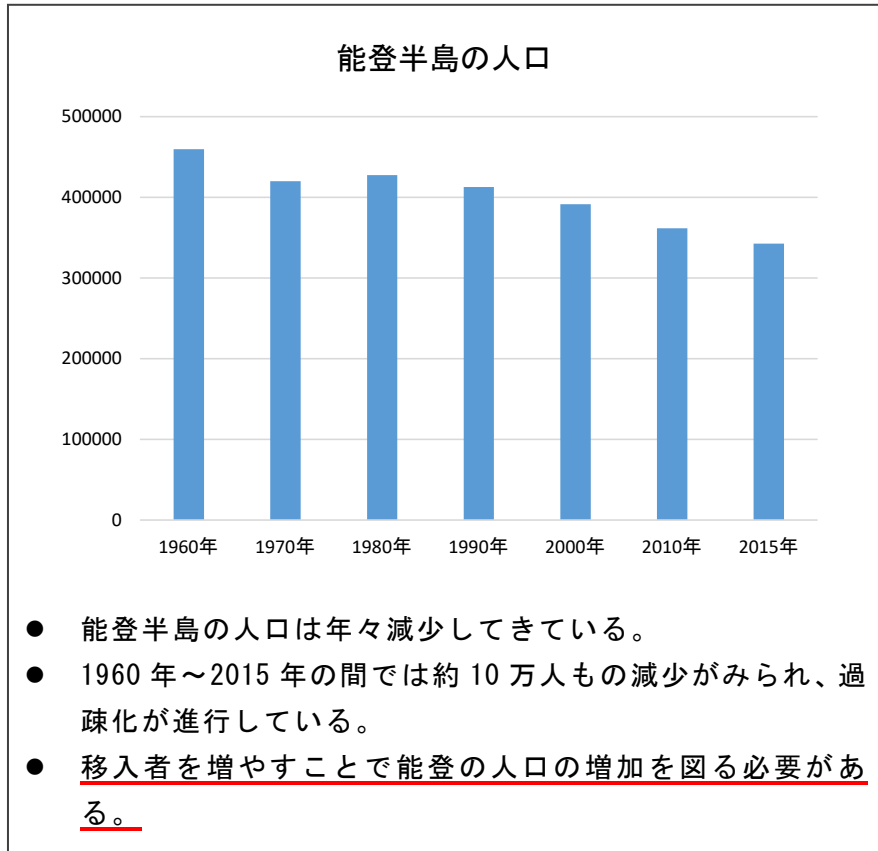
## ■解決策

能登地域を引っ越しやすく、住みやすくして移入者数を増やす。

- 住居を探しやすい環境を整える、引っ越してきた後の生活やコミュニティへの参加を支援する。
- 車が無くても暮らしやすいように工夫する。

## ■現状(課題の背景)

現状、石川県全体、特に能登地域の人口減少が進行しており、この事態の改善を図ることを目的とする。



### 原因①交通機関の不便さ

全国平均	1.062
石川県	1.492
大阪府	0.651
東京都	0.445

- 都道府県別の1世帯当たり乗用車保有台数の平均は1.062台。
- 石川県は1.492台と平均よりも乗用車の保有台数は多い。

このことから石川県は全国平均よりも、自動車が生活に必要である、つまり交通機関が不便であることが分かる。

### 原因②能登の空き家事情

現状：空き家数は多いが、家主が遠くに拠点を置いているなど利用されずに放置されている。

- ①物件がありすぎて比較が大変、どれが良いのか分からない。
- ②気になる物件があるがすぐに現地へ行けない。
- ③コロナの影響で県外からの移住体験受け入れが素直に喜べない雰囲気がある。

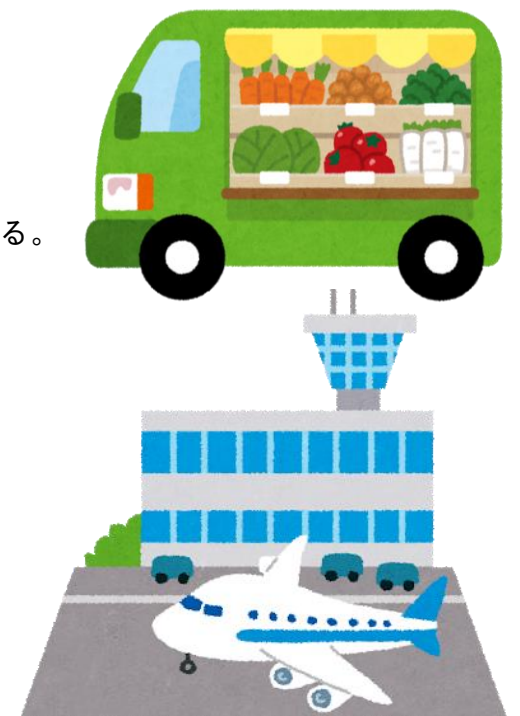
移入者数の減少に繋がる

## ■具体的内容

- ①乗用車がなくても快適な生活を実現
  - i 住宅街用の土地を整備し、近くに商店を誘致する。
  - ii 移動スーパーを整備し、自動車が無くてもしっかり買い物ができる環境を作る。
 ※移入者や住人向けに説明会を開き、詳細は其中でアンケート・聞き取りを行って決定する。
- ②能登地域への移入者支援
  - i 能登空港を生かした二拠点生活の利用を促進するため賃貸物件を中心に整備する。  
また、その地域にコミュニティをつくり、対象者の交通費の割引を行う。
  - ii 地域活性化のために若者をターゲットとしたオンラインによる物件紹介を進める。

## ■効果

- ①自動車が無くて生活できることで、移入のハードルが下がる。  
また移動スーパーによって、移入者だけでなく住人も能登地域での生活を続けやすくなる。
- ②二拠点生活に伴う長距離移動で能登空港の利用が増えることが見込める。  
また、オンラインで実際に見ることで移入者も安心して移入できる。



## ■出典

- 能登半島地域の人口の推移 <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinkou/hantou/index.html>
- 都道府県別の自家用乗用車の普及率 <https://www.airia.or.jp/publish/file/r5c6pv000000g7xt-att/r5c6pv000000g7y8.pdf>